

# 株主通信

第96期第2四半期

2021年4月1日～2021年9月30日

**JANOME**

証券コード：6445

株式会社ジャノメ

100年の感謝と未来への想いを、  
蛇の目ミシン工業株式会社は、  
株式会社ジャノメへ生まれ変わりました。

皆様に支えられ創業100周年。

蛇の目ミシン工業株式会社は、

株式会社ジャノメへ社名を変更し、

新たな一步を踏み出します。

創造で暮らしを、創造で毎日の笑顔を

生み出す会社へ、ジャノメ。

JANOME

100

YEARS  
since 1921

## 株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、本年10月に創業100周年を迎えました。日本初の国産ミシンメーカーとして創業以来、「品質のジャノメ」を強みに、国内外で実績を積み重ね、その後産業機器分野へ進出するなど、会社の成長・発展に取り組んでまいりました。当社が今を迎えることができたのは、株主のみなさまの日頃のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

この度の創業100周年を記念し、中間配当として15円の記念配当を実施させていただきます。これに期末配当25円を加え、年間配当は40円を予定しております。

また、当社は創業100周年をひとつの機会に、社名を「株式会社ジャノメ」に改め、新たな一歩を踏み出しました。次の100年に向けてより一層の企業価値向上に取り組んでまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第96期第2四半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業の概況につきましては、新型コロナウイルスによる世界的な行動制限もワクチン接種の広がりとともに緩和の動きが見られ、景気回復基調が強まりました。一方で、東南アジアをはじめとする多くの新興国では感染拡大が続いており、依然として予断を許さない状況となっております。

このような中、当社グループにおきましては、従業員の安全確保と事業の安定的な継続のため、引き続き徹底した感染対策を講じてまいりました。また、コロナ禍で伸長したミシン需要の趨勢を捉え、さらなる販売拡大に努めました。

この結果、当第2四半期の売上高は21,224百万円(前年同期比23百万円減)、営業利益は1,809百万円(前年同期比557百万円減)、経常利益は1,795百万円(前年同期比603百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,167百万円(前年同期比848百万円減)となりました。

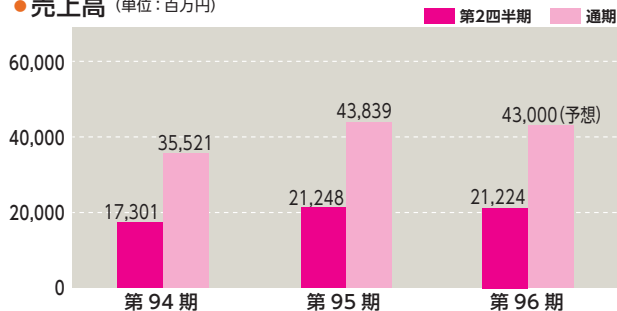


代表取締役社長 齋藤 真

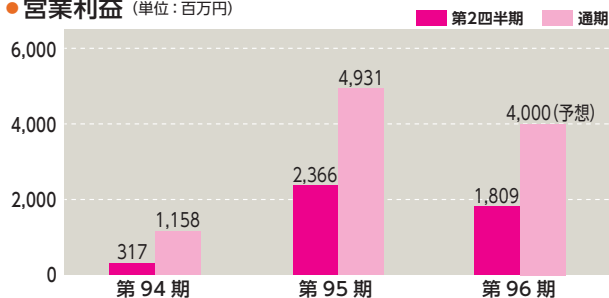
## 目 次

- P. 1 株主のみなさまへ
- P. 2 連結決算ハイライト
- P. 3 セグメント別概況
- P. 5 連結財務諸表(要旨)
- P. 6 会社概要 他

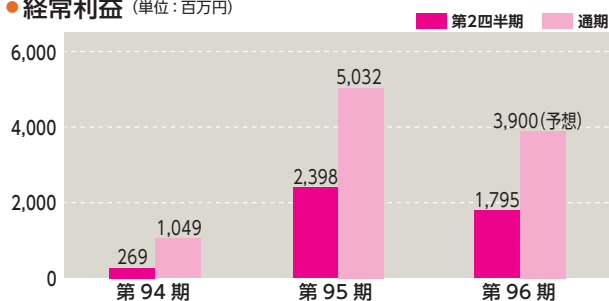
## ●売上高 (単位: 百万円)



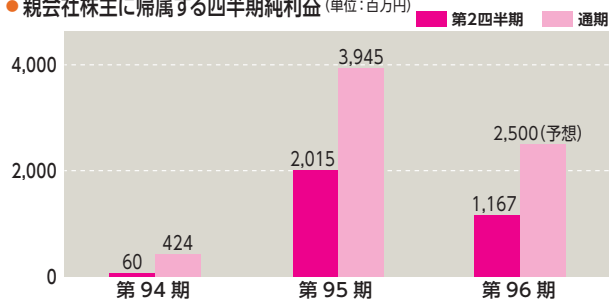
## ●営業利益 (単位: 百万円)



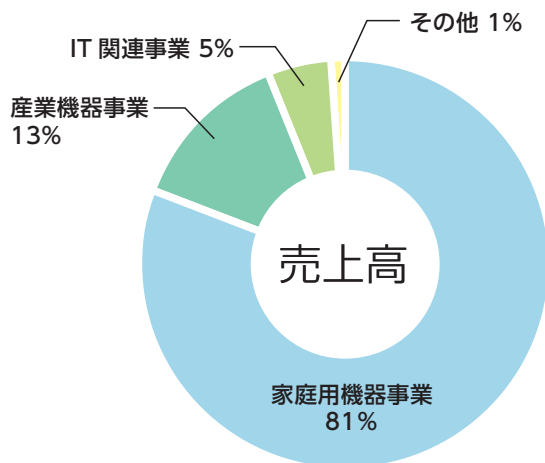
## ●経常利益 (単位: 百万円)



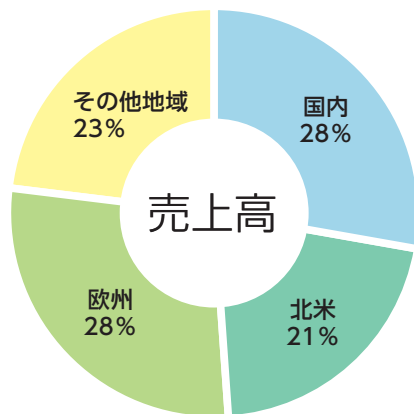
## ●親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位: 百万円)



## ●売上構成比



## ●売上高地域別内訳



※詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。  
[https://www.janome.co.jp/ir/ir\\_financial.html](https://www.janome.co.jp/ir/ir_financial.html)

## 家庭用機器事業 (ミシン等の家庭用機器の製造・販売)

海外ミシン市場では、世界的なコンテナ不足による物流問題や原材料高騰の影響を受けたものの、中・高価格帯機種の販売を伸ばした北米や欧州、大洋州をはじめ、中東、ロシアなど、幅広い地域で概ね堅調に推移いたしました。

国内ミシン市場においては、SNSを活用した情報発信に継続的に取り組むとともに、創業100周年を記念した消費者参加型の企画を実施するなど、巣ごもりで増加したミシンユーザーの定着とさらなる拡大に向けて需要喚起に努めました。こうした各種取り組みは好評を得たものの、好調だった前期の反動が大きく販売は伸び悩みました。

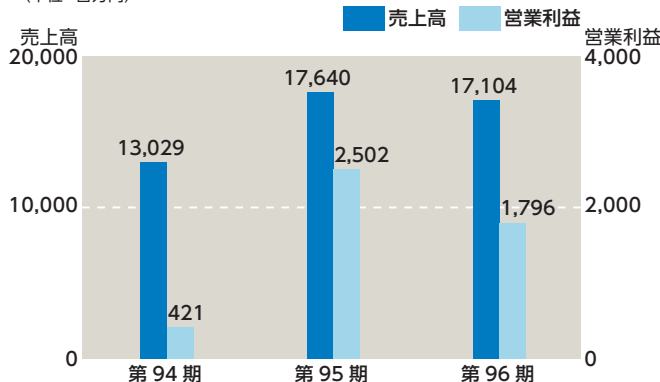
この結果、海外・国内ミシンの販売台数は86万台 (前年同期比2千台増)、**家庭用機器事業全体の売上高は17,104百万円 (前年同期比535百万円減)、営業利益は1,796百万円 (前年同期比705百万円減)**となりました。



haute couture (オートクチュール) 1000

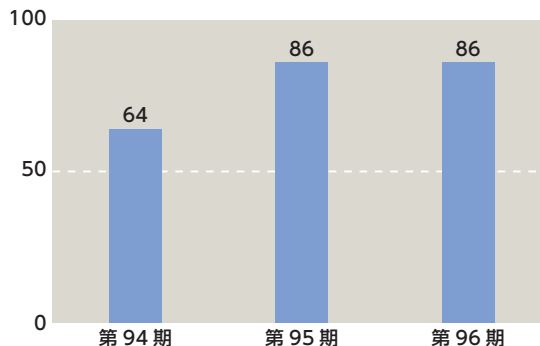
売上高・営業利益 (第2四半期)

(単位:百万円)



ミシン販売台数推移 (第2四半期)

(単位:万台)



## 産業機器事業 (卓上ロボット・サーボプレス・ダイカスト鑄造品等の産業機器の製造・販売)

産業機器事業におきましては、コロナ禍で続いた設備投資意欲の減退は底打ちの傾向を見せており、市場環境が好転しつつある中、北米では展示会への実出展を再開するなど、地域の感染状況に応じてオンラインとリアルを併用した営業活動を推進いたしました。

このような状況下、卓上ロボット・サーボプレスの販売には下げ止まり感も見られた一方で、東南アジアでの感染拡大により主力市場である自動車の減産が深刻化していることや、中国経済の不安など懸念材料も多く残る中、本格的な回復には至りませんでした。

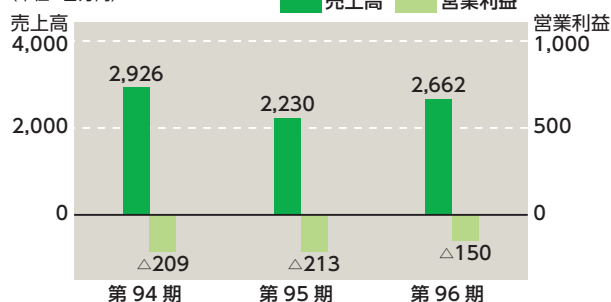
この結果、**産業機器事業全体の売上高は2,662百万円(前年同期比431百万円増)、営業損失は150百万円(前年同期は213百万円の営業損失)**となりました。



卓上ロボット (JR3000 シリーズ)  
「ツインターブル仕様」

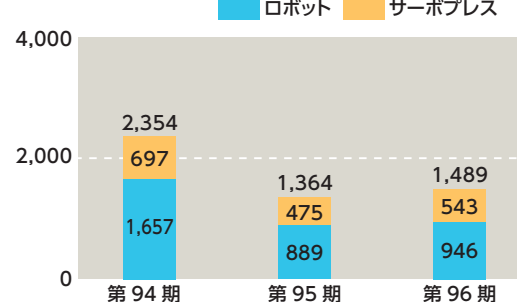
### 売上高・営業利益 (第2四半期)

(単位:百万円)



### 卓上ロボット・サーボプレス販売台数推移 (第2四半期)

(単位:台)



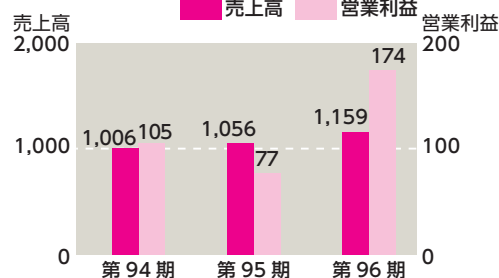
## IT関連事業

(ITソフトウェア開発・情報処理サービス・システム運用管理の受託)

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業では、生産性の向上により利益率が改善し、**売上高は1,159百万円(前年同期比102百万円増)、営業利益は174百万円(前年同期比97百万円増)**となりました。

### 売上高・営業利益 (第2四半期)

(単位:百万円)



連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

区分	当第2四半期	前 期
	2021年9月30日	2021年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	25,870	27,016
固定資産	26,858	26,658
<b>① ▶ 資産合計</b>	<b>52,728</b>	<b>53,674</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	13,743	15,197
固定負債	8,094	8,159
<b>② ▶ 負債合計</b>	<b>21,837</b>	<b>23,357</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	23,322	22,658
その他の包括利益累計額	6,666	6,700
非支配株主持分	902	957
<b>③ ▶ 純資産合計</b>	<b>30,891</b>	<b>30,316</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>52,728</b>	<b>53,674</b>

POINT

①資産の部

流動資産は、現金及び預金の減少等により、前期末に比べ1,145百万円減少いたしました。

固定資産は、繰延税金資産の増加等により、前期末に比べ199百万円増加いたしました。

②負債の部

流動負債は、短期借入金の減少等により、前期末に比べ1,454百万円減少いたしました。

固定負債は、長期リース債務の減少等により、前期末に比べ65百万円減少いたしました。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

区分	当第2四半期	前年同期
	2021年 4月 1日から 2021年 9月30日まで	2020年 4月 1日から 2020年 9月30日まで
売上高	21,224	21,248
売上原価	12,595	12,087
売上総利益	8,629	9,160
販売費及び一般管理費	6,820	6,793
営業利益	1,809	2,366
営業外収益	105	105
営業外費用	119	73
経常利益	1,795	2,398
特別利益	3	86
特別損失	4	32
税金等調整前四半期純利益	1,794	2,452
法人税等	579	359
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,167	2,015

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

区分	当第2四半期
	2021年 4月 1日から 2021年 9月30日まで
<b>④ ▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△928</b>
<b>⑤ ▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>304</b>
<b>⑥ ▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,963</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,215

③純資産の部

利益剰余金の増加等により、前期末に比べ574百万円増加いたしました。

④営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益、棚卸資産の増加、法人税等の支払額等による資金の増減があり、928百万円の資金の減少となりました。

⑤投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻による収入、有形固定資産の取得による支出等により、304百万円の資金の増加となりました。

⑥財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の減少等により、1,963百万円の資金の減少となりました。

## ●「JANOME REPORT 2021」を発行

当社グループは、昨年引き続き「JANOME REPORT 2021」を発行いたしました。

本レポートでは、財務情報と非財務情報をまとめ、当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた事業戦略やESG（環境、社会、ガバナンス）情報、当社の取り組みなどを詳しくご紹介しております。

当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

⇒ [https://www.janome.co.jp/ir/ir\\_janome\\_report.html](https://www.janome.co.jp/ir/ir_janome_report.html)



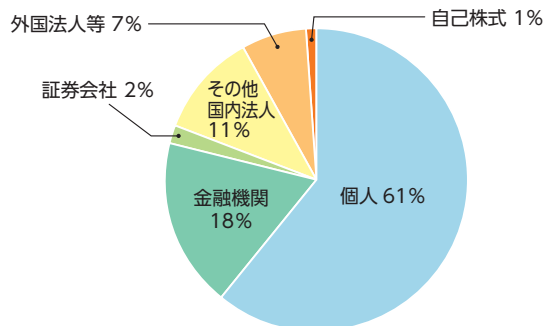
### ●会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	株式会社ジャノメ
英語表記	JANOME Corporation
本社	東京都八王子市狭間町 1463 番地
創業	1921 (大正10) 年 10 月
設立	1950 (昭和25) 年 6 月
資本金	113 億 7,300 万円
連結従業員数	3,317 名

### ●株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行済株式総数	19,521,444 株
株主総数	16,969 名(前期末比 3,256 名増)

#### 株主構成比率 (所有株式数ベース)



## ● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社  
口座管理機関

同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で  
行っております。

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により  
電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載のURL <https://www.janome.co.jp/>

---

### 株式のお手続き等についてのご注意

1. 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

---

### 株式会社ジャノメ

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL : 042 (661) 3071

